当院における Intracholecystic papillary neoplasm の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

胆嚢内乳頭状腫瘍（Intracholecystic papillary neoplasm、ICPN）は膵管内乳頭粘液性腫瘍や胆管内乳頭状腫瘍の胆嚢内病変として、2010年のWHO消化器腫瘍分類で初めて定義された、比較的新しい疾患の概念です。WHO分類の2019年改訂時に独立したカテゴリーに分類され、ICPNは“胆嚢腔内での非浸潤性の上皮内腫瘍”と定義されましたが、その臨床病理学的特徴をまとめた研究は十分ではありません。

今回、当院のICPN治療実績について検討します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021年1月から2024年7月までに当院で胆嚢摘出した方

使用する試料・情報

年齢、性別、発見契機、病理診断結果、腹部エコー、手術日、術式、術後再発の有無など
使用開始予定日：研究実施許可日

研究予定期間

2025年3月19日～2025年8月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 山村謙介
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 山村謙介

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)